

Windows® 2000

RUR4 (Service Pack 4)

インストール手順書

本手順書は、Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4)を正しく適用するための手順書です。
 本手順書を必ず一度お読みの上、Windows 2000 のインストールおよび「システムのアップデート」を実施した後で適用してください。
 Windows 2000 は、それぞれの装置に添付されておりますユーザズガイドを参照してインストールしてください。

Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4)をインストールする前に、以下の媒体と手順書がそろっていることを確認してください。

Microsoft® Windows ®¹ 2000 Service Pack 4

Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD (W2K-004a-N)
 (243-110442-116-A)

Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4) インストール手順書 (本書)

¹ Microsoft, Windows および Windows NT は米国マイクロソフト社の登録商標です。

1 . 注意事項

- ◆ ソフトウェアプロダクトによっては、Windows 2000 Service Pack 4 環境上での動作が保証されていない場合があります。

Windows 2000 Service Pack 4 の適用の際には、ご利用中のソフトウェアプロダクトのご購入元に必ずご確認ください。また、適用くださるようお願いいたします。

なお、NEC から提供しております下記ソフトウェアプロダクトにつきましては、アップデートモジュールの提供または回避策により、Windows 2000 Service Pack 4 に対応する予定です。

【2003/7/30 現在】

- SURFNAVI構築キット Ver 1.1

Windows 2000 Service Pack 4 適用については、注意事項があります。以下の URL を参照してください。『NEC 8 番街』<http://nec8.com/>

詳細情報、最新情報、およびその他プロダクトに関する情報については、お買い上げの NEC 販売店、もしくは最寄りの NEC までお問い合わせください。

- ◆ Express5800 シリーズに Microsoft Windows 2000 Service Pack 4 を適用する場合は、必ず本書にしたがって、Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4)NEC 差分 FD (W2K-004a-N)を使用し適用してください。

注意 !!

- Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4)NEC 差分 FD をサポート対象外の装置に適用すると、以下のメッセージが表示され適用できません。

セットアップメッセージ
この Windows 2000 RUR は、この装置には対応していません。
ご使用の装置を確認してください。

- ◆ システムの構成変更を行った場合には、本手順にしたがって Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4)を再適用してください。

- ◆ Windows 2000 Service Pack 4 には、Intel 100BASE ドライバ、アルテオン giga ドライバが格納されているため、場合によっては置換されてしまう場合があります。以下の内容に注意してください。

対象オプション LAN カード： **N8504-75、N8104-80 (N8504-80)**
 N8504-81、N8104-39A (N8504-39A)

ボード添付、もしくは別途入手したネットワークドライバをインストールしている場合は、Windows 2000 RUR4(Service Pack 4)適用後、それぞれ使用しているネットワークドライバの説明にしたがって、ドライバを再インストールしてください。

ネットワークドライバの最新情報につきましては、下記の Web サイトで
<http://lan-g.inet.nec.co.jp/> [ダウンロード] [NIC ドライバ・MIB 等の各種データ・資料] [NIC シリーズ]を参照し、使用しているネットワークボードのドライバをダウンロードしてください。

ダウンロードが不可能な場合には、LAN ボードをお買い求めの販売店または営業担当へお問い合わせください。

注意 !!

- N8504-75/N8104-80 (N8504-80) のネットワークボードに、N8504-85 (N8104-85)/N8104-88/N8104-86 用ドライバをご使用の場合は、再インストールの必要はありません。
- N8504-81/N8104-39A(N8504-39A)ネットワークボードをご使用の場合は、上記 Web サイトから最新版(Ver.2.0 Rev.001 [2003/7/20 現在])のドライバをダウンロードしてご使用ください。

- ◆ EXPRESSBUILDER Version 3.108a-N 以前 の EXPRESSBUILDER CD-ROM を使用して Windows 2000 をインストールする場合は、以下の点に注意してください。

マニュアルセットアップで OS をインストールした場合に、「システムのアップデート」で Windows 2000 Service Pack 4 は適用しないでください。装置添付「ユーザズガイド」または、EXPRESSBUILDER CD-ROM「インストレーション サプリメントガイド」に記載されているインストール手順にしたがい、Windows 2000 をインストールした後、本書後述のインストール手順にしたがって、Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4)NEC 差分 FD とともに適用してください。

注意 !!

- マニュアルセットアップで OS をインストールした場合で「システムのアップデート」時に、Windows 2000 Service Pack 4 の CD-ROM を挿入してしまった場合は、別の CD-ROM を挿入するように要求するメッセージが表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックして、Windows 2000 インストール後に Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD とともに Windows 2000 Service Pack 4 を適用してください。

- [キャンセル]ボタンがない場合は、装置に添付されている Service Pack CD-ROM を挿入してください。Windows 2000 インストール後に、Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD とともに Windows 2000 Service Pack 4 を適用してください。

- ◆ EXPRESSBUILDER Version 3.077a-N ~ Version 3.108a-N、および EXPRESSBUILDER Version 2.001a-B ~ Version 3.006a-B、EXPRESSBUILDER Version 3.024a-S ~ Version 3.029a-S はシームレスセットアップ中に Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD の適用が可能です。
本書後述のインストール手順にしたがって Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD とともに適用してください。
(「4. シームレスセットアップでの Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4) の適用」参照)
- ◆ EXPRESSBUILDER Version 2.076a-N 以前、および EXPRESSBUILDER Version 2.023a-S 以前の EXPRESSBUILDER 添付装置はシームレスセットアップ中に Windows 2000 Service Pack 4 を適用しないでください。
ユーザズガイドに記載されているインストール手順にしたがって、Windows 2000 をシームレスセットアップした後、本書後述のインストール手順にしたがい、Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD とともに適用してください。

注意 !!

- Service Pack 4 の CD-ROM を挿入してしまった場合は、別の CD-ROM を挿入するように要求するメッセージが表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックして、Windows 2000 インストール後に Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD とともに Windows 2000 Service Pack 4 を適用してください。
- [キャンセル]ボタンがない場合は、装置に添付されている Service Pack CD-ROM を挿入してください。Windows 2000 インストール後に、Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD とともに Windows 2000 Service Pack 4 を適用してください。

- ◆ Windows 2000 Service Pack 4 適用後はフロッピードライブが置換されます。この為、3Mode FD ドライバ適用システムは Windows 2000 Service Pack 4 適用後、EXPRESSBUILDER CD-ROM「インストレーションサプリメントガイド」、装置添付の「ユーザズガイド」を参照して 3Mode FD ドライバを再適用してください。
- ◆ Express5800/410Ea,420La,420Ma をご使用の場合で、キーボード・ディスプレイ装置・CD-ROM ドライブ・フロッピーディスクドライブが接続されていないときは、ターミナルサービス (TS) クライアントのフロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブまたは Service Pack 4 をコピーしたハードディスクの共有化を行い、TS クライアント側で共有化したフロッピーディスクドライブ等に、ドライブ文字を割り当ててください。
TS クライアントからアップデートする場合は、TS クライアントのフロッピーディスクドライブに Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD を挿入してください。
詳細については、装置添付の「ユーザズガイド」を参照してください。

- ◆ DeploymentManager² による Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD の適用も可能です。
DeploymentManager を使用する場合は、本書後述のインストール手順にしたがって Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD を適用してください。
(「5. DeploymentManager を使用した Windows 2000 RUR4(Service Pack 4)の適用」参照)

² DeploymentManager Lite は除きます。

2 . Service Pack 4 のインストールに必要なディスク容量

Windows 2000 Professional に必要な空き領域

使用領域	ネットワーク上の配布フォルダから Windows 2000 SP4 をインストールする際に必要な領域	Window 2000 SP4 CD または、Windows 2000 SP4 Web サイトから Windows 2000 SP4 をインストールする際に必要な領域
バックアップフォルダあり	280MB	340MB
バックアップフォルダなし	105MB	165MB

Windows 2000 Server および Windows 2000 Advanced Server に必要な空き領域

使用領域	ネットワーク上の配布フォルダから Windows 2000 SP4 をインストールする際に必要な領域	Window 2000 SP4 CD または、Windows 2000 SP4 Web サイトから Windows 2000 SP4 をインストールする際に必要な領域
バックアップフォルダあり	320MB	410MB
バックアップフォルダなし	105MB	190MB

- * バックアップ フォルダには、Service Pack のコンピュータ上へのインストールで変更されるすべてのファイルのコピーが格納されます。このバックアップ フォルダは、Windows 2000 SP4 セットアップ時に[ファイルをアーカイブする]オプションを選択した場合に作成されます。このオプションを選択した場合、Service Pack のコンピュータへのインストール後、Service Pack を削除することができます。ただし、このオプションを使用するには、追加のハード ディスクの空き領域を必要とします。

3 . Windows 2000 RUR4(Service Pack 4)の適用

重要 !!

Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4)を適用する前に「2. Service Pack 4のインストールに必要なディスク容量」を参照し、お使いのシステムのディスク容量を確認してください。

- (1) 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンしてください。
- (2) Web サイト等からダウンロードした Service Pack 4 を使用する場合は、ご使用のシステムの任意のディレクトリに Service Pack 4 を解凍してください。
Microsoft 社製 Service Pack 4 CD-ROM をお持ちの場合は(3)へ進んでください。
- (3) フロッピーディスクドライブに、「**Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD (W2K-004a-N)**」を挿入してください。
- (4) エクスプローラ、コマンドプロンプト等から、「**Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD(W2K-004a-N)**」中の update.exe を実行してください。
- (5) update.exe を実行後、「しばらくお待ちください...」というメッセージに続いて、以下のダイアログボックスが表示されますので、メッセージを確認し、[OK]ボタンをクリックしてください。

日本語版アップデート媒体でシステムをアップデートします。
アップデート作業を中断するなら、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
継続するなら、[OK]ボタンをクリックしてください。Service Pack 4 の適用後、NEC 差分モジュールを適用します。

アップデートを中断するには [キャンセル]ボタンをクリックしてください。

- (6) 以下のメッセージが表示されます。
Microsoft 社製 Service Pack 4 CD-ROM を使用する場合は、画面指示にしたがって<SHIFT>キーを押しながら Service Pack 4 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。Web サイト等からダウンロードした Service Pack 4 を使用する場合は、[いいえ(N)]ボタンをクリックしてください。
[はい(Y)]を選択した場合は(8)へ、[いいえ(N)]を選択した場合は(7)へ進んでください。

Service Pack 4 を使用してシステムのアップデートを行います。

Microsoft 社製 CD-ROM Service Pack 4 をお持ちの場合は、SHIFT キーを押しながら Service Pack 4 の CD-ROM をドライブに挿入し、[はい(Y)]をクリックしてください。

CD-ROMの AutoRun 機能が働いた場合には速やかにポップアップされた画面を終了させてください。

ハードディスク上に展開された Service Pack 4 を適用するなら[いいえ(N)]をクリックしてください。

- (7) Service Pack 4 をコピーしたディレクトリ名を要求されますので、Service Pack 4 をコピーしたディレクトリパスを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。[キャンセル]ボタンをクリックすると、(5)に戻ります。
- (8) Service Pack 4 のインストールが始まります。
Windows 2000 Service Pack 4 セットアップウィザードにしたがって、Service Pack 4 をインストールしてください。

[Express5800/180Rc-4 の場合]

Express5800/180Rc-4 をご使用の場合、途中で以下のメッセージが表示されます。
必ず[いいえ]ボタンをクリックして続行してください。



- (9) 以下のメッセージが表示されます。[完了]ボタンをクリックしてください。
ただし、[完了]ボタンをクリックしても、システムは再起動しません。

Windows 2000 Service Pack 4 セットアップウィザードを完了しました。
変更を有効にするには、Windows を再起動する必要があります。
:

- (10) 「Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD(W2K-004a-N)」内のファイルのコピーが始まります。
- (11) 以下のメッセージが表示されます。

Windows 2000 のアップデートを終了しました。システム中のコンポーネントの変更または、追加を行った時は、システムへのアップデートの再適用が必要です。
フロッピーディスクドライブからディスクを取り出してください。アップデートされたシステムを実行するには、[コンピュータの再起動]ボタンをクリックしてください。

- (12) フロッピーディスクドライブから「Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD (W2K-004a-N)」を抜き取ってください。
Service Pack 4 CD-ROM を使用した場合は、CD-ROM ドライブから抜き取ってください。
- (13) [コンピュータの再起動]ボタンをクリックし、システムを再起動してください。

4 . シームレスセットアップでの Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4) の適用

- (1) 周辺装置、Express サーバーの順に電源を ON にする。
- (2) Express サーバーの CD-ROM ドライブに CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をセットする。
- (3) CD-ROM をセットしたら、リセットする(<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す) か、電源を OFF/ON して Express サーバーを再起動する。
CD-ROM からシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDER が起動します。
- (4) [シームレスセットアップ]をクリックする。
「お願い」が表示されます。
- (5) メッセージの内容を読んでから[確認]をクリックする。
「セットアップパラメータ FD を挿入してください。」というメッセージが表示されます。

お願い
シームレスセットアップ終了後、セットアップ情報をバックアップすることをお勧めします。バックアップ情報が無いときは、修理復旧時にお客様の装置固有の情報や設定を復旧できなくなります。
バックアップは、空きフロッピーディスクを 1 枚準備して、ツールでオフライン保守ユーティリティの「システム情報の管理」から「退避」を選択してください。

- (6) 「セットアップパラメータ FD」をフロッピーディスクドライブにセットし、[確認]をクリックする。
- (7) OS のインストール中に設定する内容を確認する。
Express サーバー本体にディスクアレイコントローラボードが搭載されている場合は、[アレイディスクの設定]画面が表示されます。「RAID の作成」が「既存 RAID を使用する」に設定されていることを確認し、[次へ]をクリックしてください。

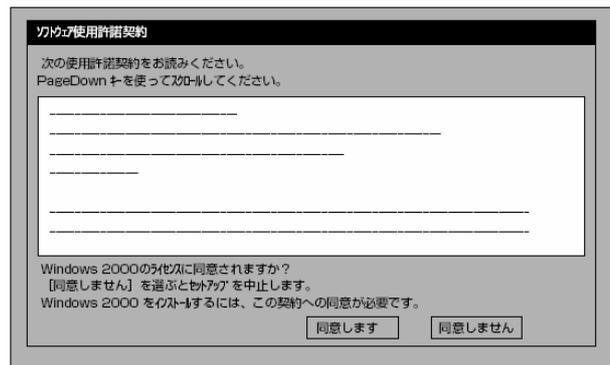
次に、[NEC 基本情報]画面が表示されます。

「サービスパックの適用」を「する」に設定してください。その他の設定内容を確認し、必要なら修正を行ってから[次へ]をクリックしてください。(画面中の「対象マシン」は機種によって表示が異なります。)

以降、画面に表示される[次へ]、[戻る]、[ヘルプ]をクリックして設定を確認しながら画面を進めてください。設定内容は必要に応じて修正してください。

- (8) オプションの大容量記憶装置ドライバのモジュールをコピーする。
オプションの大容量記憶装置ドライバをインストールする場合は、大容量記憶装置に添付されているフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、メッセージにしたがって操作してください。
- (9) 追加するアプリケーションをインストールする。
シームレスセットアップに対応しているアプリケーションを追加でインストールする場合は、メッセージが表示されます。

- (10) メッセージにしたがって CD-ROM 「EXPRESSBUILDER」とセットアップパラメータFDをCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブから取り出し、Windows 2000 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。



[ソフトウェア使用許諾契約] 画面が表示されます。

- (11) よく読んでから、同意する場合は、[同意します]をクリックするか、<F8>キーを押す。同意しない場合は、[同意しません]をクリックするか、<F3>キーを押す。
- (12) 下記のメッセージが表示されるので、Windows 2000 Service Pack 4 をセットして [OK]を選択する。

Microsoft Windows 2000 ServicePack CD-ROM をドライブに挿入してください。
ServicePack を適用しない場合は、キャンセルを選択してください。

- (13) 下記のメッセージが表示されるので、[OK]を選択する。

挿入された CD-ROM は ServicePack CD-ROM でないか、要求されたバージョンではありません。
要求されたバージョン以外の ServicePack CD-ROM を適用する場合はRUR 媒体を使用して適用できます。
RUR 媒体を使用して ServicePack を適用しますか？

- (14) 下記のメッセージが表示されるので、本媒体をセットして[OK]ボタンをクリックする。

RUR 媒体をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

- (15) 下記のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックする。

ファイルのコピーを完了しました。

- (16) 下記のメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブから本媒体を取り出して[OK]ボタンをクリックする。

ドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

- (17) 下記のメッセージが表示されるので、Windows 2000 Service Pack 4 をセットして[OK]を選択する。

Microsoft Windows 2000 ServicePack CD-ROM をドライブに挿入してください。
ServicePack を適用しない場合は、キャンセルを選択してください。

- (18) 下記のメッセージが表示され、自動インストールを続行します。

ここから無人インストールになります。
Windows 2000 インストール終了まで自動的にセットアップします。

終了まで《 約 30 ~ 120 分 》

- (19) Windows 2000 と指定したアプリケーションは自動的にインストールされ、システムにログオンします。

- (20) シームレスセットアップで Windows 2000 RUR4 (Service Pack 4) の適用が完了します。装置添付の「ユーザーズガイド」を参照しドライバ、障害処理の設定を行いセットアップを完了してください。シームレスセットアップの詳細については、装置添付の「ユーザーズガイド」を参照してください。

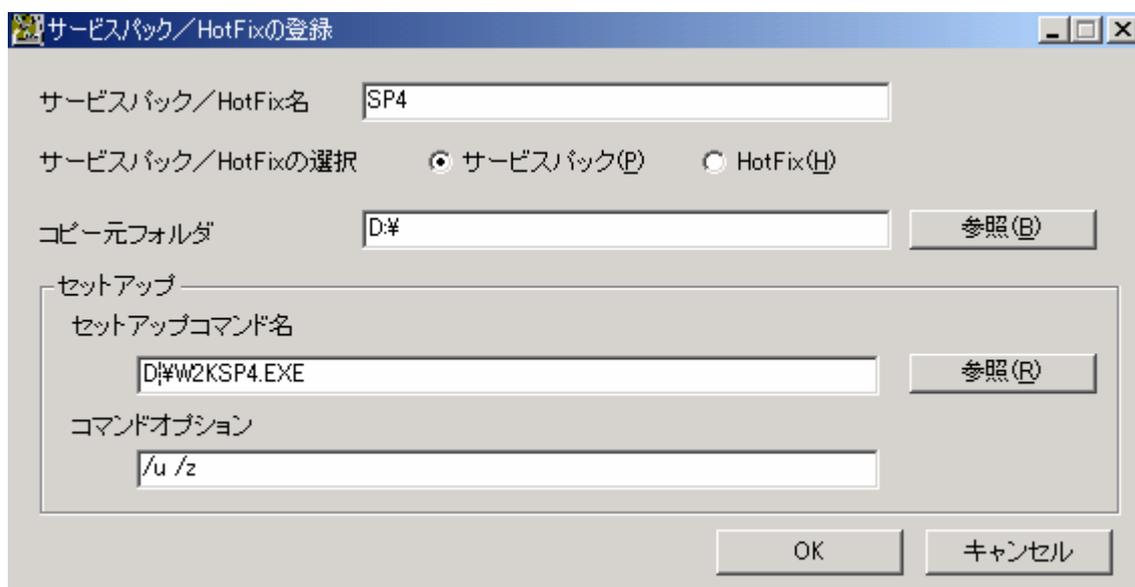
5 . DeploymentManager を使用した Windows 2000 RUR4(Service Pack 4)の適用

重要 !!

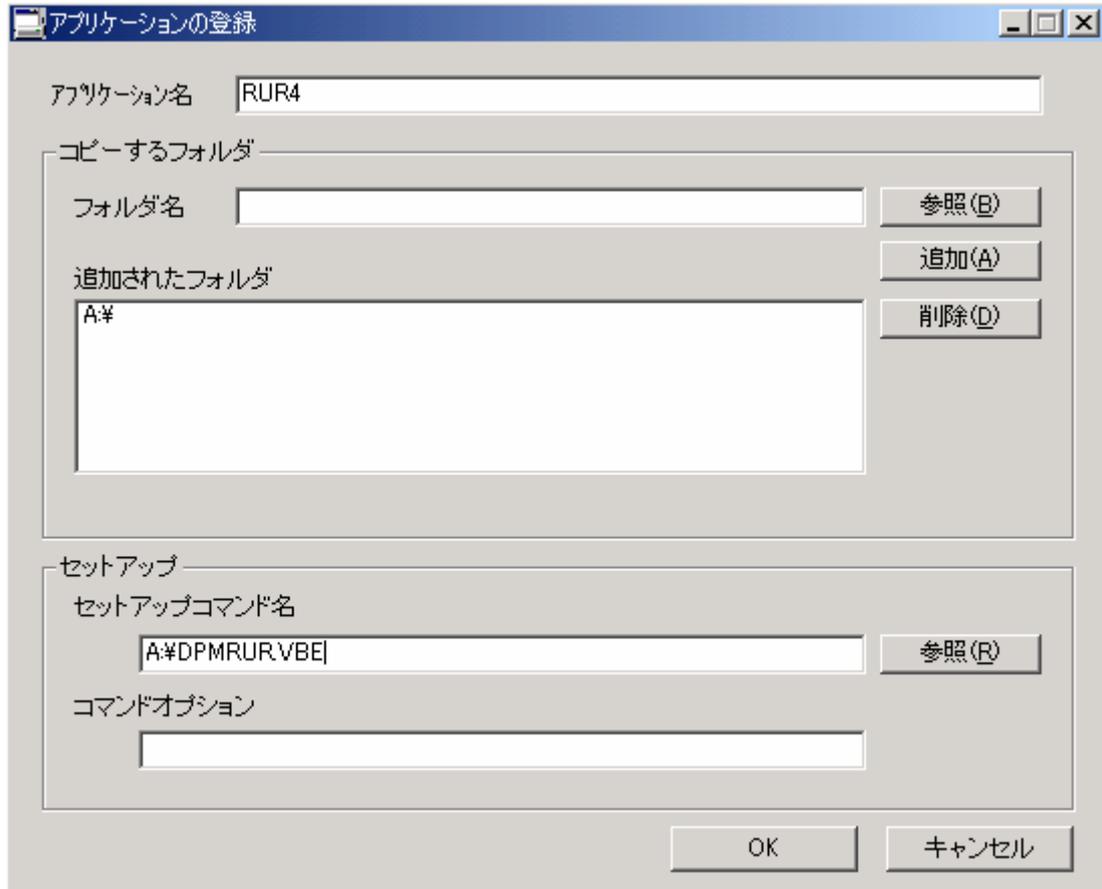
- DeploymentManager の詳細な操作方法については、製品添付の説明書を参照してください。
- DeploymentManager Lite には、この機能はありません。
- 単独適用は、DeploymentManager 2.0 以降のみです。

5-1. OS のクリアインストールと同時に RUR4 (Service Pack 4) を適用する場合

- (1) DeploymentManager を起動する。
- (2) 「イメージビルダー」の「オペレーティングシステムの登録」により、Windows 2000 CD-ROM をイメージ登録する。
- (3) 「イメージビルダー」の「サービスパック / HotFix の登録」により、Microsoft Windows 2000 Service Pack 4 をイメージ登録する。
「セットアップコマンド名」は、「D:¥W2KSP4.EXE」と指定してください。
(D:の部分は、ご使用の環境に合わせて変更してください。)
「コマンドオプション」は、「/u /z」と指定してください。



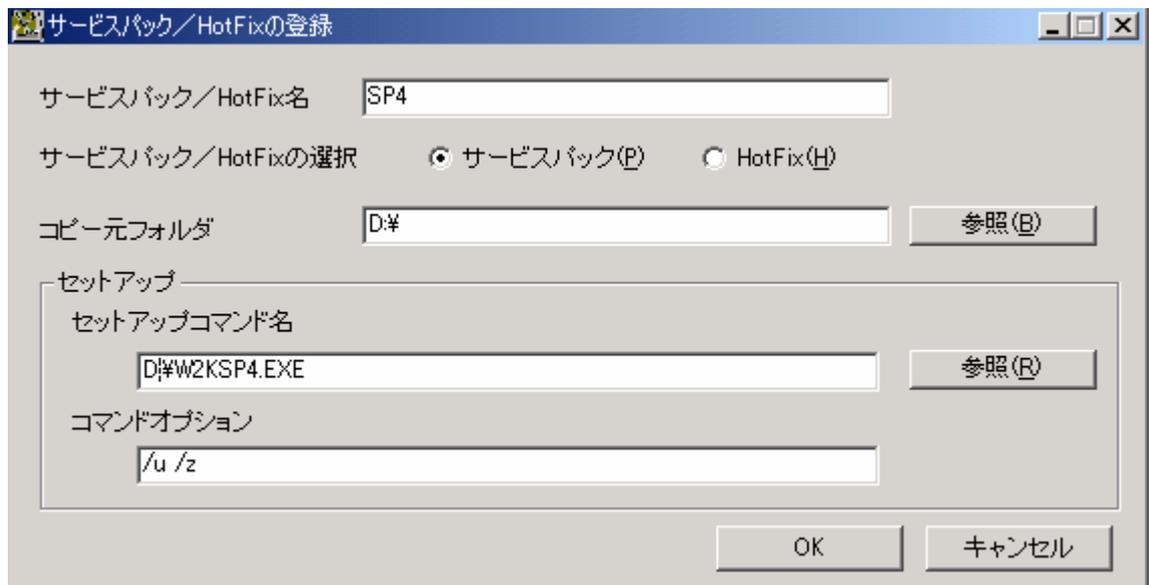
- (4) 「イメージビルダー」の「アプリケーションの登録」により、「Windows 2000 RUR4 対応(Service Pack 4) NEC 差分 FD」(W2K-004a-N)をイメージ登録する。
「セットアップコマンド名」は、「A:¥DPMRUR.VBE」と指定してください。
(A:の部分は、ご使用の環境に合わせて変更してください。)
「コマンドオプション」の指定は必要ありません。



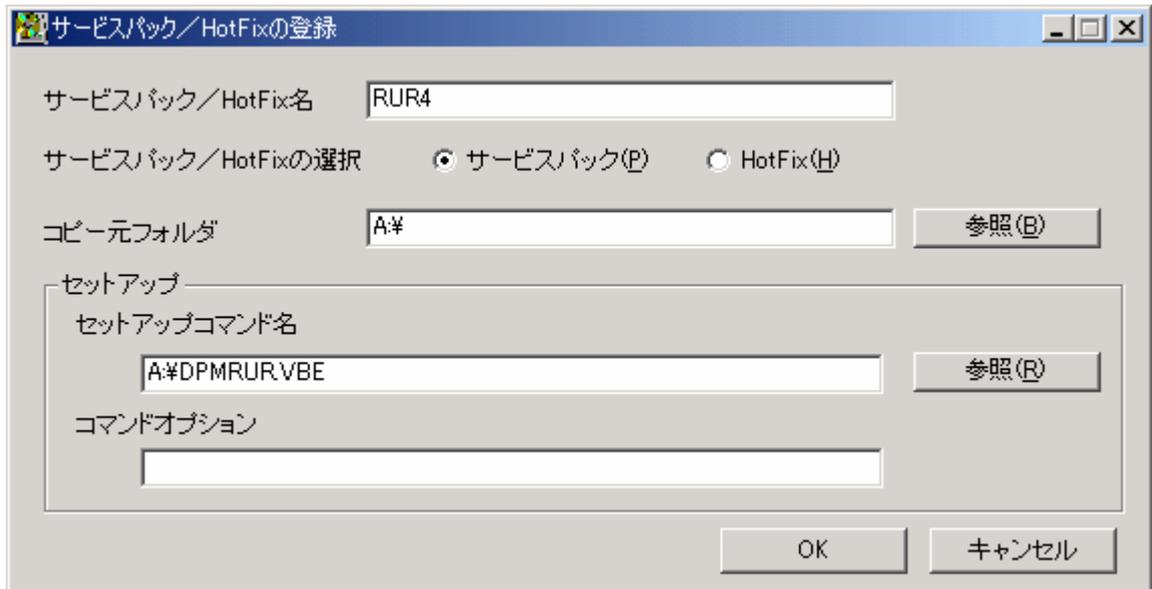
- (5) (2),(3),(4)で登録したイメージファイルが一度に適用されるよう、
- (6) シナリオを作成する。
- (7) (5)で作成したシナリオを対象の装置に割り当てる。
- (8) シナリオを実行する。

5-2. RUR4 (Service Pack 4)を単独で適用する場合：OS クリアインストールとは別に行う場合

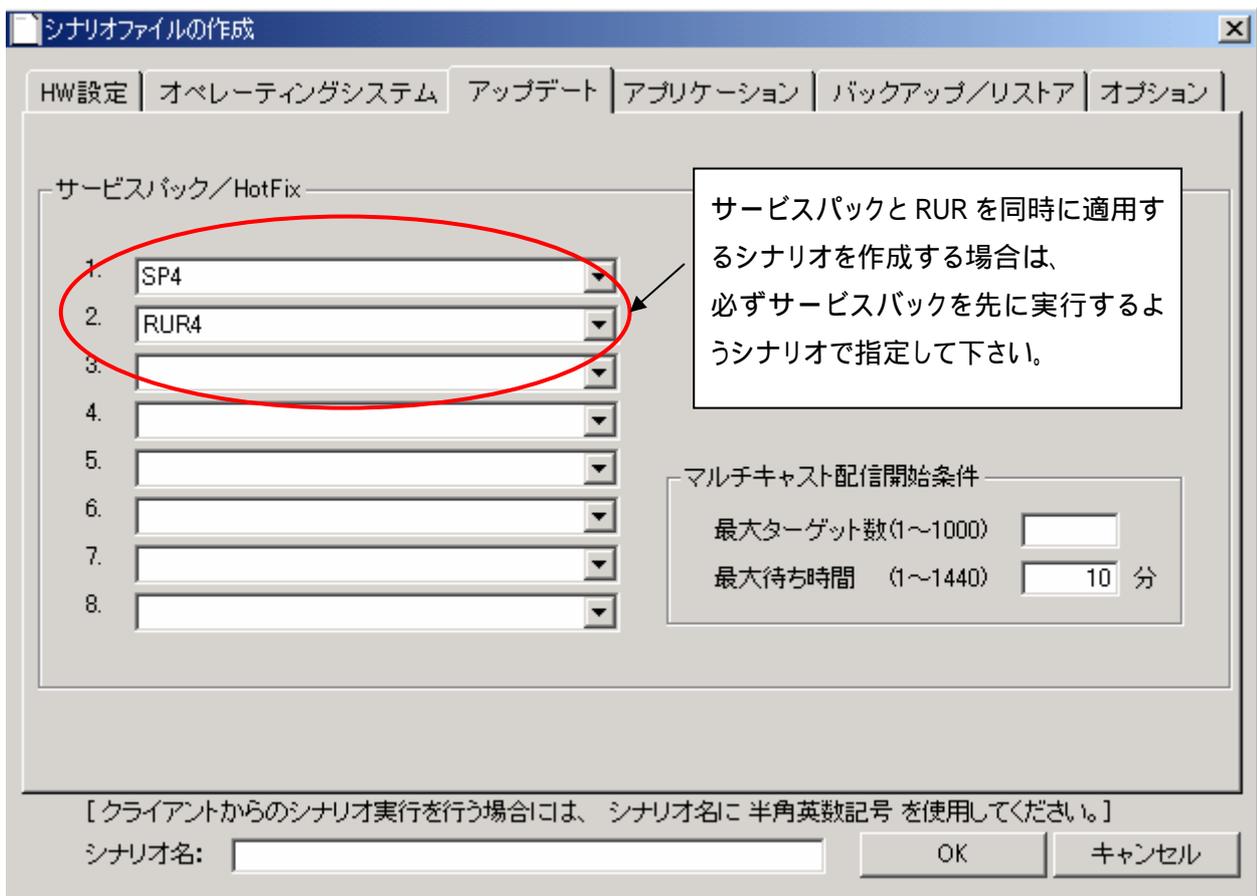
- (1) DeploymentManager を起動する。
- (2) 「イメージビルダー」の「サービスパック / HotFix の登録」により、Microsoft Windows 2000 Service Pack 4 をイメージ登録する。
「セットアップコマンド名」は、「D:¥W2KSP4.EXE」と指定してください。
(D:の部分は、ご使用の環境に合わせて変更してください。)
「コマンドオプション」は、「/u /z」と指定してください。



- (3) 「イメージビルダー」の「サービスパック / HotFix の登録」により、「Windows 2000 RUR4 対応 (Service Pack 4) NEC 差分 FD」(W2K-004a-N)をイメージ登録する。
「セットアップコマンド名」は、「A:¥DPMRUR.VBE」と指定してください。
(A:の部分は、ご使用の環境に合わせて変更してください。)
「コマンドオプション」の指定は必要ありません。



- (4) (2), (3)で登録したイメージファイルが一度に適用されるよう、シナリオを作成する。



- (5) (4)で作成したシナリオを対象の装置に割り当てる。
 (6) シナリオを実行する。

6 . トラブルシューティング

Expressサーバが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容にしたがってExpressサーバをチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理にしたがってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。



IIS をインストールした Windows 2000 に SP4 を適用すると、以下の警告がイベントログに 1 度だけ登録される

イベント ID: 517

ソース : IISAdmin

種類 : 警告

説明 : このコンピュータでは IIS ロックダウン ウィザードが実行されていません。
ここから最新のバージョンのツールをダウンロードしてください。

(<http://www.microsoft.com/japan/technet/security/tools/tools/locktool.asp>)

IIS Lockdown ツールは任意のインストールツールです。運用上は特に問題はなく、無視していただいて構いません。



IIS をインストールした Windows 2000 に SP4 を適用すると、以下の警告がイベントログに 1 度だけ登録される

イベント ID: 519

ソース : IISAdmin

種類 : 警告

説明 : 拡張子 .htr のスクリプト マッピングは、ism.dll から asp.dll に
リダイレクトされました。ism.dll はもうサポートされません。

運用上は特に問題はありません。



イベント ビューアに下記内容の WinMgmt の警告が登録される場合がある

イベント ID: 37

説明 : ライブラリ内で不明な問題が発生したため、WMI ADAP は "ファイル名" パフォーマンス ライブラリを読み込むことができませんでした: 0x0
Service Pack 4 CD-ROM を使用した場合は、CD-ROM ドライブから抜き取ってください。

イベント ID: 41

説明 : Collect 関数で時間違反があったため、ADAP は "ファイル名" パフォーマンスライブラリを処理できませんでした。
または 009 サブキーで値が見つからなかったため、WMI ADAP は パフォーマンス ライブラリ "ファイル名" のオブジェクトインデックス"インデックス番号" を作成しませんでした

イベント ID: 61

説明 : open 関数で時間違反があったため、WMI ADAP は "ファイル名" パフォーマンス ライブラリを処理できませんでした。

カウンタの問題または WMI(Windows Management Instrumentation) パフォーマンス ライブラリ dredger の無効な正の戻り値が原因で登録されることがありますが、運用上は特に問題はありません。



イベント ビューアに下記内容の LoadPerf の警告が登録される場合がある

イベント ID: 2000

説明 : インストール ファイルでオブジェクトの一覧が見つかりませんでした。オブジェクトの 一覧をインストール ファイルに追加すると、パフォーマンス カウンタを計測するときに、 システムのパフォーマンスが改善されます。

WMI(Windows Management Instrumentation)が表示されたパフォーマンスカウンタを求めることが原因で登録されることがありますが、運用上は特に問題はありません。



イベント ビューアに下記内容の rasctrs の警告が登録される場合がある

イベント ID: 2001

説明： イベント ID (2001)(ソース rasctrs 内)に関する説明が見つかりませんでした。リモート コンピュータからメッセージを表示するために必要なレジストリ情報またはメッセージ DLL ファイルがローカル コンピュータにない可能性があります。次の情報はイベントの一部です：.

Systemroot\system32\drivers フォルダ配下に NDISWAN.SYS が存在するかどうか確認してください。システムの再起動後に本エラーが登録されていない場合は、運用上は特に問題はありません。